



合志の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和7年5月30日（金）No 8 発行
文責：松本 卓也

一度立ち止まって、正しいかどうか確認したい

情報社会と呼ばれる今日において、スマートフォン等の情報通信機器は、非常に利便性が高く、私たちの生活とは切り離すことができないものになっています。しかし、使い方によっては非常に危険なツールになることもあり、①無料通話アプリや SNS、オンラインゲーム等の長時間利用による生活習慣の乱れ、②ネット詐欺や不正請求などのネット被害、③ SNS によるトラブルなどに利用者が巻き込まれてしまう事案が多数発生しています。

そのため、子どもたちに「情報モラル」を身に付けさせ、将来の新たな機器やサービス、あるいは危険の出現にも適切に対応できるようにすることが、学校や家庭、社会のそれぞれの立場で求められています。本校ではその一環として、23日（金）、情報モラル教育講演会を開催しました。講師は、日本公衆電話会の H 様です。「ネットへの投稿」「ネットの使い過ぎ」「ネット上の偽・誤情報」「ネットの特性」について、事例をもとに子どもたちに考えさせながら、インターネットの安心・安全な使い方について教えていただきました。正しく使うためのポイントとして、

- ネットへの投稿 → 投稿前に立ち止まり、本当に大丈夫か？よく考えよう
- ネットの使い過ぎ → 自分の利用状況を知る（スクリーンタイムの活用）
お家の人と納得できるルールを決める（時間や場所等）
ネットやゲーム以外の趣味を持つ（リアルの楽しみ）
- ネット上の偽・誤情報 → 様々な方向から正しい情報か？見極めよう
（情報源？発信者？新聞やTVでどう言われているか？画像は本物か？）
- ネットの特性 → フィルターバブル（見たい情報ばかりが見える）
エコーチェンバー（同じような意見ばかりに触れていると自分の意見は正しいと信じ込み、冷静な判断ができなくなる）
アテンション・エコノミー（注目を得るためにタイトルや内容が過激になったり憶測で作成した情報が飛び交ったりしやすい）



があり、ルールを守って賢く使うことが大事であることを学びました。お礼の言葉では、視聴覚副委員長の T さんが、「これからは、一度立ち止まって、今、自分がしようとしていることが本当に正しいかどうか？確認しながら生活していきたい」と述べてくれました。

情報通信機器を利用する際は、危険性や法的責任を理解した上でルールを守った使い方をすることが大切です。時間や場所、約束（宿題が終わってから使用等）等、ご家庭でのルールづくりを、改めてお願いいたします。



【くまもと携帯・スマホの利用5か条】



ようこそ、先輩！ ～教育実習開始～

26日（月）から教育実習が始まりました。合志中の卒業生で、現在、大学4年生です。中学校の先生の免許を取るために、3週間、授業や学級経営等、実際の教育現場で「先生」としての仕事を体験し、必要な知識や技術を実践的、多面的に学びます。初日の子どもたちへの挨拶では、「皆さんとの交流や先生方のご指導の下、立派な先生になるための勉強をしっかりと大学に帰りたいと思います。」と決意を述べてくれました。子どもたちや職員の姿から多くの学びが得られることを期待します。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）